

令和 2 年 度

事 業 報 告 書

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 3 1 日まで

公益社団法人 全 国 食 肉 学 校

# 事業報告

## I. 事業概要

### 1. 事業重点実施事項

#### (1) 教育訓練事業

- ①今年度の卒業生数は40名で、コース別の内訳は、総合養成科 24名(1年コース17名、前期コース7名)、食肉販売科16名でした。
- ②時代のニーズに沿って、「食肉のおいしさと保健機能」、「アメリカンミート」、「ジビエの心」「アンガーマネジメント」などの新規講座を設けました。
- ③学生各々の習得状況に応じた個別指導、課外授業等を実施し、資格取得に向けた指導を継続強化しました。
- ④オーストラリア食肉研修旅行の中止に伴い、和牛輸出関連等高度な座学、実習を実施しました。
- ⑤学生とのコミュニケーションを密にし、役職員、講師、寮監との情報共有化に努めました。
- ⑥新規に(株)オーエムツーミート、倉持ピッグファウム(株)ぶうーぶー〜豚職人工房〜、(株)ミート工房かわば、ミートフーズサービス(株)で校外実習を実施し、一部就職に結びつきました。

#### (2) 教育研修事業

- ①FMA セミナー(本校主催研修会)は、総定員数345名に対して138名の受講生数と低調で、受講率は40.0%(計画80%、前年度60.0%)でした。人気の牛豚基礎セミナーについては各2回開催し、受講生の負託に応えました。
- ②企業提携研修は低調で28法人70回開催しました(前年度52法人122回)。JA飛騨ミートと新規に取り組みしました。
- ③企業版ミートアカデミーとして、(株)栗食、県北食肉センター協同組合、鳥取東伯ミート(株)、兵庫県食肉卸事業協同組合等と年間契約セミナーを実施しました。
- ④ポリテクセンター群馬と連携して、新たに(株)群馬県食肉卸売市場、(株)オルビスと年間契約セミナーを実施し、オープンセミナーも2回実施しました。(株)しんゆうフーズに対してはHACCP指導を実施しました。さらに、来年度に向けて全国のポリテクセンターに対して研修事業者としての登録申請を行いました。
- ⑤和食文化と日本式食肉処理・加工技術の普及については、(公社)中央畜産会との連携による海外セミナー及び和牛輸出先国の招聘セミナー共に実績

なしに終わりました。

J A全農インターナショナル㈱とは、輸出販促用の和牛カッティングと調理の動画配信用ビデオ作製を実施しました。

- ⑥パキスタンのハイバル・パフトゥンハー州の牛肉産業近代化に向けて、AHITI（パキスタン畜産職業訓練学校）の中に食肉学校を作るための「牛肉カリキュラム作成に関わるサービスの提供」について、UNIDO（国連工業開発機関）と契約を締結し、テキストの作成、ビデオと写真の撮影を実施しました。
- ⑦消費者向けセミナーについては、玉村町住民活動サポートセンター（ばる）と連携した「1129の日セミナー」を継続実施しました。
- ⑧厚生労働省の若年技能者人材支援等事業（ものづくりマイスター制度）は8年目となり、群馬県職業能力開発協会の協力を得て、群馬県内の7つの高校の授業の一環として、豚枝肉からハムソーセージ作りを計9回実施し、2年生を中心に約200名が参加しました。
- ⑨J A全農と連携して、全国の農業高校生たちが参加する第4回和牛甲子園（ZOOM開催）へ審査員を派遣し、賞状・副賞（ペーコン等）を提供しました。
- ⑩第13回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会（ZOOM開催）の食肉産業セミナー分科会に講師として参加し、食肉産業を目指す大学生に本校の取り組みなどを紹介し、現状と課題について議論しました。
- ⑪食育セミナーについては、玉村町住民活動サポートセンターと連携して「肉の食育体験」を企画し、地元小中学生とその保護者に大好評でした。

### （3）通信教育事業

通信教育3コースについては、いわゆる巣籠もり需要を期待して、範囲を広げ全国の量販店等に対して例年の2倍以上の1,300社にダイレクトメールを送りました。しかし、3コース合わせて受講者数は179名（昨年度254名）と、定員（300名）昨年度とも大きく割り込みました。

### （4）資格認証事業

- ①食肉処理製造技術（部分肉）資格の豚部分肉製造マイスターの取得者は1名（受験者3名）これまでの累計で195名、牛部分肉製造マイスターの取得者は3名（受験者5名）累計で89名となりました。新型コロナのみならず豚熱（CFS）の影響で南九州を中心に大量のキャンセルが出ました。
- ②豚部分肉製造1級は3名、2級は4名、それぞれ合格しました。本校学生以外ではベトナム人（㈱群馬ミート）1名が外国人技能実習生として初めて合格しました。

- ③兵庫県食肉卸事業協同組合が 2018 年度に始めた「兵庫県牛肉マイスター」認定制度に、本校の牛部分肉製造マイスターが認定条件のひとつとして採用されていますが、今年度合格した 1 名を含め、これまでに 9 名が認定されました。
- ④食肉販売技術管理士資格については、学生 9 名、卒業生 2 名、外部 1 名の合計 12 名が合格しました。
- ⑤9 回目となるお肉検定については中止しました。
- ⑥外国人技能評価試験については、「牛豚部分肉製造作業（初級）」で昨年度比 20%減の 754 名（昨年度 943 名）、専門級で同 156%の 527 名（昨年度 338 名）が合格しました。新たに上級試験が始まり、19 名が合格しました。また、牛豚精肉商品製造作業の試験実施機関の申請作業は一定進んだものの、認定には至りませんでした。
- ⑦7 回目となる食品衛生管理者登録講習会については、40 名（昨年度 60 名）が受講し、全員修了証を取得することができました。これまでの累計修了者数は 318 名となりました。

#### (5) 食肉製品製造販売事業の取り組み

- ①欄群馬県食肉卸売市場の「肉の駅」4 店舗、JA 佐波伊勢崎直営「ファーマーズマーケットからかーぜ」2 店舗等へのベーコンの販売は順調でした。玉村町のふるさと納税返礼品として、「さとふる」に加えて新たに「ふるさとチョイス」「楽天」が加わり、数量が増加しました。
- ②玉村町の学校給食に継続納入（年 2 回）し、中学 2 年生の教室で給食時にベーコンについての出前授業をしました。

## 2. 運営重点実施策

### (1) 教育指導体制・組織運営体制の充実

- ①ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定 2 級に専任講師 2 名が合格しました。
- ②専任講師 1 名がリテールマーケティング販売士 2 級に合格しました。
- ③教務部専任講師 1 名を外部研修に出し、牛と畜からカットまでのスキルアップを図りました。
- ④総務部職員 1 名を外部研修に出し、豚部分肉カットの講師として育成しました。
- ⑤毎月の職員会議でリスク管理研修を実施しました。
- ⑥東京大学の食肉アレルギー研修等業務関連セミナーを講師に受講させました。

## (2) 経営基盤の確立

- ①満期保有目的化した債券についてはこれを維持し、低金利下において比較的高い運用益を得ることができました。
- ②公益会計の3基準である、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額の保有制限について、適正処理により遵守しました。

## (3) 施設管理の徹底と有効利用

### ①実習室

冷蔵ショーケースの更新

### ②新型コロナ対応

4.(2)に記述

### ③利根川河川改修工事

群馬県土木事務所による河川掘削工事に伴い、校庭の一部1,250.81㎡を売却する予定です。これに伴って梅、桜、公孫樹の一部伐採を行いました。

### ④その他

高圧ケーブルの更新、フォークリフトの更新

## (4) 食品安全マネジメントシステムの維持・向上

- ①食肉製品について、3月4日2度目のSQF再認証審査に合格しました。
- ②SQF第9版の研修をプラクティショナー1名が受講し、同4名が勉強会をしました。
- ③精肉・惣菜について、HACCPによる管理を実施しました。

## (5) 情報発信力の強化

- ①ホームページの更新頻度を上げ、若者受けするコンテンツを掲載しました。また、ブログを常時更新する仕組みを作りました。
- ②玉村町役場主催の「玉村町魅力発信機構」立ち上げの準備委員会に委員として出席し、協力しました。  
「広報たまむら」4月号表紙に校舎と学生の写真が掲載されました。また10月号では「町は肉のワンダーランド」というコンセプトの下、本校が紹介されました。
- ③群馬県畜産課の依頼で、動画・放送スタジオ「tsulunos (ツルノス)」で放映する上州牛料理動画作成に協力しました。  
同じく、(公財)群馬県長寿社会づくり財団の冊子「ときめき群馬」にお肉の料理レシピを提供しました。  
さらに、同課及びJA群馬中央会の橋渡しで、パキスタンに係るUNIDOとの契約について山本一太群馬県知事と会見・報告し、激励を受けました。
- ④マイナビ農業に本校紹介記事を掲載しました。

⑤マスコミでの紹介

上毛新聞の「オピニオン」にコラムが2回掲載されました。(全6回予定)  
朝日群馬の「地域瞭乱」にコラムが掲載されました。

狩猟生活9月号、旅の手帖4月号、上毛新聞「風っこ」(こども新聞)で本校が紹介されました。

群馬テレビの「ぐんまトリビア図鑑」に出演しました。

FMたまむらに出演しました。

- ⑥映画「新解釈三国志」(福田雄一監督、大泉洋主演)へ撮影用食材(牛骨、脂肪、肺)を提供したことで、映画のエンドロールに協力企業として本校名が出ました。

(6) その他

①地域貢献の一環として一昨年度から始めた実習済み原料肉の食材提供については、こども食堂、フードバンク、県立女子大、ニッポンアカデミー(日本語学校)等多方面に渡りました。

②東洋大学食環境学部太田研究室による「交雑牛牛肉における破断強度と官能検査との関連」論文作成への助言をしました。

③プロ女子サッカーチーム「Farina 高崎」の練習場として、週2回本校グラウンドを提供しています。

### 3. 単年度収支

- (1) 今年度の経営は、経常収益は228,522千円、経常費用が262,921千円となり、評価損益等調整前当期経常増減額は△34,399千円と、計画を下回りました(計画△18,946千円、前年度△307千円)。
- (2) 事業区分毎の収益を見ると、教育訓練が68,307千円と(昨年度70,194千円)学生数減により減少しました。教育研修は企業提携研修が減少し32,559千円(同49,748千円)、資格付与はマイスター受検者減により減少し40,172(同42,197千円)、食品衛生管理者講習会は受講生が減少し11,192千円(同19,410千円)、公益目的事業収益は162,160千円(同215,766千円)と昨年度を53,606千円下回りました。
- (3) 今年度の正味財産期末残高は254,040千円となりました。
- (4) 公益認定法第5条第8号および第15条に規定される公益法人としての基本的な要件である公益目的事業比率は、87.3%となり、基準の50%を上回りました。

## 4. 新型コロナウイルス感染症について

### (1) 影響

- ①学生の入学直前のキャンセルが5名ありました。
- ②緊急事態宣言発出に伴い4月25日（土）から5月6日（水）まで12日間連続休校しました。
- ③これに伴い、食肉販売科の卒業式を1週間延期しました。
- ④総合養成科のオーストラリア食肉研修旅行が中止になりました。
- ⑤FMAセミナー、企業提携セミナーの延期、中止、受講生のキャンセルが相次ぎました。
- ⑥第9回お肉検定を中止しました。
- ⑦外国人技能実習生の新規入国が一定期間できなくなりました。
- ⑧理事会、定時総会、商談、学生授業、各種セミナーなどを一部オンライン形式で実施しました。
- ⑨校庭での朝会、校旗降下などの団体行動に際して近隣住民からのクレームが入り、本来行事の実施方法の変更（室内実施）を余儀なくされました。
- ⑩感謝祭に際しては、入場券の抽選による事前送付、ドライブスルー方式の採用等、密を回避するための取り組みを行いました。

### (2) 対策

- ①学生に対して、入学2週間前から体調記録を求め、入寮後しばらくの間は外出外泊禁止等新型コロナを持ち込まない指導を、また、食事、入浴方法の変更等万が一持ち込んでも広げない指導を徹底しました。
- ②トイレのスイングドア化、水道蛇口の非接触型への変更、大教室へのロスナイ（熱交換換気システム）の導入、食堂へのオゾン発生器の導入、自室でのオンライン授業を可能にする通信環境の拡充など、施設面の改善を行いました。
- ③新型コロナ検査キットを購入し、体調不良時の迅速な感染確認を実施しました。

### (3) 結果

- ①新型コロナに起因する直接的な収益の減少は54,600千円、内訳は教育訓練が5,900千円、教育研修が17,200千円、外国人技能実習生が6,700千円、資格認証が4,200千円、お肉検定が20,600千円でした。同じく直接的な費用の増加は2,410千円、固定資産の取得は2,420千円でした。

## II. 関係資料

### 1. 教育訓練事業

#### (1) 入学・卒業期日

科	入学期日	卒業期日
総合養成科 1年コース	4月 7日	3月 5日
総合養成科 前期コース	4月 7日	9月 29日
食 肉 販 売 科	4月 7日	7月 3日

#### (2) 入学・卒業・修了生数

(単位:名)

区分		科	総合養成科		食肉販売科	合 計
			1年コース	前期コース		
本 年 度	入 学 身	入 学 生 数	17	7	16	40
		会 員 ・ 同 出 資 企 業	0	2	12	14
		食 肉 関 連 企 業	3	2	3	8
		食肉専門店等後継者	12	3	1	16
		一 般	2	0	0	2
		海 外	0	0	0	0
	コ ー ス 変 更 ・ 退 学	0	0	0	0	
	卒 業 生 数	17	7	16	40	
累 計 卒 業 生 数		1,781	91	590	2,572	

- (注) 1. 累計の合計は、開校以来の合計数である（食肉加工科 110名を含む）。
2. 累計には修了生は含まない（1年:11名、前期:37名、計 48名）。
3. 会員・同出資企業とは、会員及び会員が出資している企業（子会社等）



## (3) 修学時間数

(単位:時間)

科		区分	学 科		実 技			計
			前期	後期	前期 (校内)	後期		
						(校内)	(校外)	
総合養成科	R2年度	322.5	136.5	503.5	161.0	560.0	721.0	1683.5
	R1年度	336.0	136.5	503.5	161.0	568.0	729.0	1705.0
前期コース	R2年度	322.5		546.5			546.5	869.0
	R1年度	336.0		547.0			547.0	883.0
食肉販売科	R2年度	175.0		270.5			270.5	445.5
	R1年度	197.5		269.0		(43.5)	269.0	466.5

(注) 1. 食肉販売科の校外実習 ( ) は選択制である。

## 2. 教育研修事業

## (1) FMAセミナー

日程		講座名	定員	参加者	
基礎	1	11/24	食肉加工品の基礎知識半日セミナー	15	0
	2	11/24	食肉の基礎知識半日セミナー【オンライン】	15	2
	3	11/25	食肉の原価計算基礎から応用セミナー	20	2
	4	8/19~21	食肉基礎セミナーⅠ(加工品編)	20	9
	5	8/26~28	食肉基礎セミナーⅡ(牛肉編)①	20	20
		10/5~7	食肉基礎セミナーⅡ(牛肉編)②	20	13
	6	9/1~3	食肉基礎セミナーⅢ(豚肉編)①	20	13
		10/12~14	食肉基礎セミナーⅢ(豚肉編)②	20	7
	7	10/8~9	食肉基礎セミナーⅣ(内臓肉編)	20	12
公開 授業	1	中止	豚部分肉加工技術者研修	5	-
	2	9/7~10	牛部分肉加工技術者研修	5	3
応用	1	10/15~18	ジビエ基礎セミナー①	20	8
		2/9~11	ジビエ基礎セミナー②	20	5
	2	10/26~28	ソーセージ試作セミナー	20	6
技能 検定	1	10/29	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【2級】	20	1
	2	10/30	ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定受験準備研修会【1級】	20	0
資格	1	1/19~28	食肉販売技術管理士技能講習会(公開講座)	5	3
宿泊	1	3/15~19	食肉業界人育成研修	20	10
			計	345	138

(2) 企業提携研修

月	法人名
5	鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会
6	ポリテクセンター群馬(粥栗食 3 回)
7	JA 全農ミートフーズ(株)、ポリテクセンター群馬(粥栗食 3 回)、JBS JAPAN(株)、 ポリテクセンター群馬(G・M フーズ)、(一社)たまむら住民活動支援センター
8	ポリテクセンター群馬(G・M フーズ)、ポリテクセンター群馬(粥栗食 3 回)、 (株)いわちく、(有)中村牧場
9	(株)いわちく、兵庫県食肉卸事業協同組合、飛騨ミート農業協同組合連合会
10	兵庫県食肉卸事業協同組合、(株)平和堂、鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会、 ポリテクセンター群馬(粥栗食 1 回、しんゆうフーズ(株)1 回、オープンセミナー1 回)、 神奈川県食肉業務用卸事業協同組合
11	伊勢崎興陽高等学校、(公社)日本食肉格付協会、藤岡北高校、粥栗食、 鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会、プラボーワークス(株)、JBS JAPAN(株)(2 回)、 (独)農畜産業振興機構、(一社)日本ジビエ振興協会、大泉高校、新田暁高校、 (一社)たまむら住民活動支援センター
12	(独)農畜産業振興機構、伊勢崎興陽高等学校、吾妻中央高校、大泉高校、 安中総合学園高等学校、JBS JAPAN(株)
1	勢多農林高等学校、ポリテクセンター群馬(2 回)、(一社)日本ジビエ振興協会、 カナダビーフ国際機構
2	ポリテクセンター群馬(粥群馬県食肉卸売市場 4 回、粥オルビス 1 回、オープンセミナー1 回) 鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会、カナダビーフ国際機構
3	ポリテクセンター群馬(粥群馬県食肉卸売市場 3 回、粥オルビス 1 回)、 日本メイプルリーフフーズ(株)、JBS JAPAN(株)、UNIDO(2 回)、首都圏卸売業者協同組合、 (有)中村牧場、JA 全農ミートフーズ(株)
合計	実施企業数 28 法人      実施回数 70 回

### 3. 通信教育事業

#### (1) コース別受講生

(単位：名、%)

コース名		定員	受講者	修了者	修了率
食肉流通業務実践コース	R2 年度	200	90	82	91.1
	R1 年度		153	140	91.5
食肉の原価計数管理コース	R2 年度	100	51	44	86.3
	R1 年度		59	53	89.9
食肉関連法規コース	R2 年度	100	38	37	97.4
	R1 年度		42	39	92.9
計	R2 年度	400	179	163	91.1
	R1 年度		254	232	91.3

### 4. 資格認証事業

#### (1) 食肉販売技術管理士認定試験

(単位：名、%)

	受験者	合格者	合格率
学生	17	9	52.9
外部	3	3	100.0
計	20	12	60.0

(2) 豚部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受験者	合格者	合格率
3	1	33.3

(3) 牛部分肉製造マイスター認定試験

(単位：名、%)

受験者	合格者	合格率
5	3	60.0

(4) 豚部分肉製造1級・2級認定試験

(単位：名、%)

受験級	受験者	合格者	合格率
1級	3	3	100.0
2級	4	4	100.0

(5) 外国人技能実習評価試験（牛豚部分肉製造作業）

(単位：名、%)

	受験者	合格者	合格率
初級	775	754	97.3
専門級	550	527	95.8
上級	20	19	95.0

(6) 食品衛生管理者登録講習会

(単位：名、%)

受講者	修了者	修了率
40	40	100.0

5. お肉検定

第9回お肉検定は中止とした。

## 6. 学生の表彰

### (1) 学校長賞

賞	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
優秀賞	友保 雄貴 下田 一文 相澤 虎愛	小林 元気 石川 貴裕 安島 壮規	藤原 佑翼 小野 隆弘 小野 崇雄
優良賞	守屋 就平 金嶺 傑	尾形 嶺	田尻 直也 佐藤 佑哉
技能賞	南田 雅徳		木戸口 琉也
努力賞	大澤 成翔		石塚 和真 福田 雅也 高山 光紀

### (2) 褒賞

褒賞名	総合養成科	総合養成科 前期コース	食肉販売科
農林水産省生産局長賞	友保 雄貴	小林 元気	藤原 佑翼
群馬県知事賞	下田 一文	石川 貴裕	小野 隆弘
(独)農畜産業振興機構理事長賞	相澤 虎愛	安島 壮規	小野 崇雄
群馬県職業能力開発協会会長賞	守屋 就平 金嶺 傑	尾形 嶺	田尻 直也 佐藤 佑哉

### Ⅲ. 主な報告事項

#### 1. 会員の異動

	期首	入会	脱退	期末
会員	23	0	0	23

#### 2. 役員の異動

区分	期首	辞任	就任	期末
常勤理事	2	0	0	2
非常勤理事	9	3	3	9
監事	2	0	0	2
計	13	3	3	13

##### (1) 就任

###### 理事

高橋 正	(全国農業協同組合連合会経営管理委員会副会長)	令和2年10月27日
唐澤 透	(全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員会会長)	令和2年10月27日
堀越 伸一	(株式会社科学飼料研究所取締役)	令和2年10月27日

##### (2) 辞任

###### 理事

大澤 憲一	(前全国農業協同組合連合会経営管理委員会副会長)	令和2年10月27日
石田 秀範	(前株式会社科学飼料研究所取締役)	令和2年10月27日
尾崎 太郎	(前農林中央金庫食農法人営業本部営業第二部部长)	令和3年3月26日

### 3. 学校運営委員会委員の異動

	期首	辞任	就任	期末
運営委員	7	2	2	7

#### (1) 就任

西野 一 (ホクレン農業協同組合連合会酪農畜産事業本部長) 令和3年2月1日

吉岡 浩人 (株式会社モリタ屋代表取締役社長・教育指定店) 令和3年2月8日

#### (2) 辞任

佐藤 健一 (前株式会社サトウ食品代表取締役・教育指定店) 令和2年9月8日

丹羽 篤司 (前ホクレン農業協同組合連合会酪農畜産事業本部長) 令和3年1月31日

### 4. 職員の異動

区分	増減 性別	期首			増			減			期末		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総務部		4	3	7	0	2	2	1	0	1	3	5	8
教務部		10	0	10	1	0	1	3	0	3	8	0	8
計		14	3	17	1	2	3	4	0	4	11	5	16

#### (1) 採用

松尾 淳子 令和2年4月1日

田村 秀俊 令和2年5月16日

角田 詩織 令和3年3月23日

#### (2) 退職

加辺 英明 令和2年4月25日

小田垣 諭司 令和3年3月31日

古澤 栄作 令和3年3月31日

青木 好宏 令和3年3月31日

## 5. 主要業務・行事等

月	日	事 項
4	1 7 30	令和3年度学生募集開始 総合養成科第56期生・食肉販売科第31期生入学式 2019年度事業監査(業務・会計)
5	1 20	令和2年度通信教育講座開講(実践・原価・法規・3コース) 第1回理事会(第1回定時総会上程議案の付議他)
6	1 9 28	令和3年度入学者願書受付開始 第1回定時総会(2019年度事業報告他) 食肉販売科卒業記念感謝祭
7	3 30	食肉販売科第31期生卒業式 第1・四半期監事監査
9	23 29	総合養成科前期コース卒業記念感謝祭 総合養成科前期コース卒業式
10	6 27 30	第2回理事会(第2回臨時総会上程議案の付議他) 第1回臨時総会(理事補欠選任) 第3回理事会(代表理事、副理事長互選) 第2・四半期監事監査
11	24 28	第4回理事会(上半期執行状況報告) 創立記念日(創立47年)
2	1 3 5 28	食品衛生管理者登録講習会(2/1~3/4) 技能照査試験 第3・四半期監事監査 卒業記念感謝祭
3	5 12 19	総合養成科第56期生卒業式 学校運営委員会(書面開催) 第5回理事会(令和3年度事業計画書・予算他)